

関東同窓会のホームページがオープンしています。ご覧ください。
<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/>

関東同窓会のe-mail。近況をお知らせください。
uedakant@m4.dion.ne.jp

第46回総会 総会に花添える

2大イベント

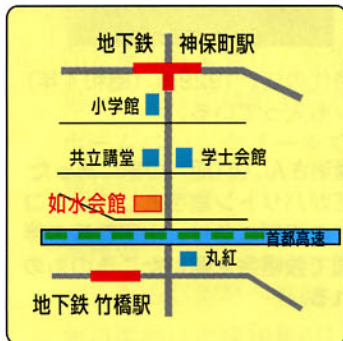
6月30日(土)

あなたをお待ちしています。

同窓会ならではの夢の音楽会も実現!



6月30日(土曜日) 【会場】 如水会館
13:15 受け付け開始 千代田区一ツ橋2の1の1
14:00~17:00 電話 03-3261-1101
総会・演奏会・懇親会 【会費】 8,000円(学生無料)



地下鉄 神保町駅 下車徒歩3分
(三田線・新宿線・半蔵門線)
地下鉄 竹橋駅 下車徒歩4分(東西線)

白井透(60期) 電話 03-3862-1065
Eメール shirai-toru@hotmail.com

【主な出品要領】・頒布希望部数当日持参
(当日の出席者は最大230人見込み)・頒布品
費用自己負担・書画の展示はご相談ください。
・6月15日までに出品内容をお知らせく
ださい。【申込み・お問い合わせ先】

◎書画、写真、詩歌、随筆(母校の思い出、
各班全国大会出場記、出場を支えてくれた
班友、留学体験記、同窓会・同期会参加記、
大学通信、社会人生活記、新海外事情等)
紀行文、評論文、各種てほどき書、手工芸
品など数多くのご出品をお待ちしています。

また、会員参加型の手作り運営によ
つて会の魅力を高めるため、会場にお
ける会員の作品展示と頒布を実施いた
します。皆様ならではの作品は、ふれ
あいの場をより新鮮に豊かにし、次な
る発展にもつながることでしょう。

第46回総会実行委員長 白井透(60期)
関東同窓会第46回総会は、6月30日
(土)、神田一ツ橋の如水会館で開催
されます。今年の上田中学を昭和4年に卒
業した江文也(28期)の埋もれていた
遺作を西澤真理子さん(91期)が演奏
します。(詳細は2ページ参照)。

より豊かなふれあいの場を
みんなの手で

応援団長の高下駄できる!

応援団長の履く高下駄ができました。高下駄に乗っ
ているのが応援団長、横が応援委員長。「台の前面と後面に
六文銭を入れ、朴歯の正面に『試百難』と書こうと思う」と
藤本校長。壮行会や大会での活躍が期待されています。



選んだ真田昌幸を例に
困難を乗り越えた誇り
と心が本校に息づいて
いると、生徒たちの自
覚を促しました。

越える第一の秘訣だ」と、新入生を激励しました。
藤本校長は、徳川から押しつけられた無理難題
に対して、それを突き返して正面から戦うことを



入学は全日制326名、定時制32名

去る4月5日母校で
入学式が行われ、藤本
校長が、校歌の「いざ
百難に試みむ」にこそ
本校の誇りと心が表さ
れていると語り、「困難
や逆境から逃げないこ
と、目の前の困難から
逃げるよりも別の困難
がやってくる、それで
更に逃げる。その結果
は解決にならない。勇
気を持って立ち向かう
ことこそが困難を乗り越

長野県上田高校 関東同窓会第46回総会

第46回総会に参加しましょう!

実行委員は、60、65、70、75、80期の方々に
お願いします。担当期の方は早めにご参集下さい。

式次第

第1部：総会 14:00-14:20

議事(18年度会務報告、決算報告、監査報告、19年度会務計画、予算案、他)

第2部 ピアノ演奏会 14:30-15:00

西澤真理子さん(91期)(60期西澤寛さんのお嬢さん)

第3部 懇親会 15:10-17:00

懇親、会食(立食buffet形式)、校歌、凱歌斉唱、他

6月30日 如水会館
受付開始13:15

江文也(28期昭和4年卒)のピアノ曲

西澤真理子さん(91期)が演奏

如水会館秘蔵のベヒシュタインで蘇る遺作!



▲上中時代の江。1929年(昭和4年)のサインも入っている。

◀荻原隆治さん(61期)の家にあった写真。江がバリトン歌手として日本コロムビアの専属になり、山田耕筰の伴奏で全国で独唱会を開いたころのものと思われる。

青春の日々に私達と同じ古城の門を出入りした江文也という先輩を知っていますか。台湾からの留学生として兄と共に上中に学び、音楽、後に作曲を志し、一九三六年のベルリンオリンピック芸術競技の佳作に入選。しかし、戦争とそれに続く日本・台湾・中国の分断の中で、自らのアイデンティティを求め芸術活動の場を北京に拠った江は、東京に残した最愛の家族と再会することなく、50代、60代には文化大革命の波にも翻弄されて、一九八三年、苦悩にみちた孤高の生涯を閉じました。

その埋もれたままの江文也に、上田史の視点から再び光を当てようと取り組んできたのが、北條彰一さん(51期)です。正月の上田ケーブルTVの番組の中で北條さんは、江が多感な青春を過ごし、生涯の思い出の地と懐かしんだ上田の人々に、改めて彼を紹介しました。

また、彼の形見というべき貴重な楽譜は、関係者の好意と努力によって60余年も後輩のピアノニスト西澤真理子さんに託されました。西澤さんは、深い思い入れと熱意をもって彼のレパトリリーを自らのものとし、2005年12月には上田で発表の機会を得たのです。

今回関東同窓会総会の場でこの演奏会が実現する運びとなった僥倖を共に慶びたいと思います。心の耳を澄まして、彼の音楽を静かに聴くうではありませんか。

(寺島知恵子・58期 記)

平成18年度会務報告案 (平成18年4月1日—19年3月31日)

- (1) 第45回総会・懇親会 7月1日(土) 参加者230余名。
■母校室内楽班招待公演、サッカー班、ソフトテニスの全国大会への募金提供。
- (2) 会報 ■第75号を5月末に発行(7,500部)。
- (3) 諸活動 ■拡大幹事会(4回=4月、総会反省会、9月、新年会)、役員会随時開催(会財政との関連で基金運用、事務所の購入、法人化、本部と支部化、他、討議) ■母校との交流(社会講座へ講師5名派遣、会長:PTAとの交流、母校入学式、卒業式に出席) ■本部、支部との交流(9月本部総会、9月関西同窓会総会に出席、11月中南信総会に祝電)

- ゴルフ同好会(4月、10月計2回開催)
- (4) 会財政対応 ■総会・懇親会での収支が大幅赤字 ■19年1月拡大幹事会で当面する諸問題へのアンケート実施 ■事務所維持費の寄付募集案作成 ■利用料の安い新事務所への移転検討 ■会報76号を年末年始号から46回大会直前号に切り替え
- (5) 事務所の活用 ■会務、幹部会、実行委員会、総会準備作業、同期会等に使用 ■会議の食事代は自己負担とし余剰金は回へ寄付(実績:4万円) ■パソコン、資料、名札、事務用品、打合せ机・椅子等取納
- (6) 同窓会ホームページの運営

●●平成19年度
会務計画案 ●●

・第46回総会

平成19年6月30日(土)
如水会館にて開催。
当番期は、60期、65期、70期、75期、80期の皆さん。
立食buffet形式。催しは、本校生徒招聘は今年は縮小し、手作りメニューを検討。

・会報

76号を5月末発行。会報は場合によっては年1回とし、ホームページやメールでの情報発信を検討する。

・事務所

四谷から三番町へ移転。
使用開始は平成19年6月1日。

・財政の改善策を実施

事務所維持費
(120口×5千円)の募集。
会報広告増加策、
年会費増加策の検討。

・本部・支部問題

法人化の問題の検討。

・母校社会講座への協力

・全国女性同窓生交流会に参加

●●平成18年度決算報告案●● 平成18年4月1日～19年3月31日(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	-775,880	-775,880	0	大会費	1,300,000	1,735,456	435,456
大会費収入	1,600,000	1,584,000	-16,000	会報費	2,100,000	1,072,698	-1,027,302
会報広告料	150,000	210,000	60,000	交通費	150,000	251,660	101,660
年会費収入	2,300,000	1,552,000	-748,000	通信費	100,000	124,693	24,693
会議費収入	300,000	364,000	64,000	会議費	450,000	546,147	96,147
寄付金収入	300,000	371,088	71,088	渉外費	100,000	128,180	28,180
雑収入	200,000	213,000	13,000	印刷費	30,000	36,447	6,447
受取利息収入	0	132	132	事務費	960,000	923,430	-36,570
(小計)	4,850,000	4,294,220	-555,780	雑費	70,000	70,615	615
運営基金利息繰入	1,200,000	1,200,000	0	(小計)	5,260,000	4,889,326	-370,674
				次期繰越金	14,120	-170,986	-185,106
合計	5,274,120	4,718,340	-555,780	合計	5,274,120	4,718,340	-555,780

●●平成19年度予算案●● 平成19年4月1日～20年3月31日(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	19年度予算	18年度決算	増減	科目	19年度予算	18年度決算	増減
前期繰越金	-170,986	-775,880	604,894	大会費	1,320,000	1,735,456	-415,456
大会費収入	1,600,000	1,584,000	16,000	会報費	1,250,000	1,072,698	177,302
会報広告料	250,000	210,000	40,000	交通費	230,000	251,660	-21,660
年会費収入	1,600,000	1,552,000	48,000	通信費	120,000	124,693	-4,693
会議費収入	340,000	364,000	-24,000	会議費	510,000	546,147	-36,147
寄付金収入	800,000	371,088	428,912	渉外費	150,000	128,180	21,820
雑収入	200,000	213,000	-13,000	印刷費	50,000	36,447	13,553
受取利息収入	0	132	-132	事務費	700,000	923,430	-223,430
(小計)	4,790,000	4,294,220	495,780	雑費	70,000	70,615	-615
			0	(小計)	4,400,000	4,889,326	-489,326
運営基金利息繰入	0	1,200,000	-1,200,000	次期繰越金	219,014	-170,986	390,000
合計	4,619,014	4,718,340	-99,326	合計	4,619,014	4,718,340	-99,326

運営基金特別勘定

科目	19.3.31現在 (単位:円)		
	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	9,780,000	150,000	9,930,000
同利息	2,467,548	4,224	2,471,772
利息一般会計繰入	-500,000	-1,200,000	-1,700,000
合計	11,747,548	-1,045,776	10,701,772

普通預金:三井住友
郵便振替:新宿花園郵便局
定額貯金:新宿花園郵便局
定期預金:三井住友

一般会計・特別会計総括表

科目	19.3.31現在 (単位:円)		
	金額	科目金額	
現金	65,610	運営基金	10,701,772
普通預金	100,196		
郵便振替	1,354,943		
特別会計から一時流用	-1,691,735		
<運営基金用>			
定額貯金	5,210,192		
定期預金	3,794,252		
普通預金	5,593	次期繰越金	-170,986
一般会計へ一時流用	1,691,735		
合計	10,530,786	合計	10,530,786



会計長に
荻原隆治さん
(61期)

昨年11月に櫻井資悦会計長(59期)から勤務先業務の関係で辞退したいとの申し出があり、61期の荻原隆治さんを後任として推薦、顧問会、役員会で承認頂き、直ぐに実務について頂きました。
荻原さんは、明治大学政治経済学部卒業後、東京大学事務局、文部科学省関係機関にて人事、総務関係に従事。定年退職して現在にいたっておられます。

伝統の応援練習、今もなお

母校便り

試百難

上田高等学校長 藤本光世



平成十九年四月十四日

関東同窓会の皆様へ

全日制三百二十六名、定時制三十二名の新生を迎えて、好天のもとに平成十九年度がスタートしました。私は、この時期が一番好きです。新入生は初々しくて、希望に燃えています。在校生も先輩として新入生を迎えようと、さまざまな行事で、これまで松尾が丘で培ってきた真価を発揮します。

入学式の朝は驚きました。大勢の班員が古城の門から生徒昇降口に、二列になって、その間を新入生や保護者を通し、クラブ勧誘のチラシを渡すのです。室内楽や吹奏楽は演奏をしています。ここに、素晴らしき松尾が丘の一こまを見ました。

昨日は応援練習が終わりました。これまた素晴らしかった。

応援団長が実に立派でした。一年生と心を交流して、大きな声を引き出していました。今年度は同窓会の

ご配慮で、百周年で作成した、校歌や応援歌が載ったCDを入学祝として全員に贈っていただきました。それもあってか、一年生の歌う校歌や応援歌は、昨年より、また大きな声になったように思えました。

は感動で涙が出ました。高校生でなければ言えない、一年生が真剣に聞いてくれなければ言えない、ここに素晴らしい交流があったのでした。終わって、自然と拍手が起きました。大きな拍手が。一年生も拍手していました。私も、大きく拍手していました。

このような、素晴らしい場面を、生徒と共有することができて、本当に幸せです。

入学式で、生徒が校歌の最後の一節の『試百難』の誇りを心に持って高校生活を送ってほしいと話しました。今年度は新しい試みとして、年間一五回の公開行事としての土曜授業も始まります。私も『試百難』の誇りを受け継いで、今年度も学校経営にまい進したいと思っています。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

上田高校校生になった。年がたつと、応援練習の重要性が諸君にもわかるはずだ。俺は、今、上田高校でのこれまでの生活を後悔している。もっと勉強をしておけば良かった。もっと班活を一生懸命して置けば良かった。後悔は、ゼロにはできないかもしれない。しかし、これから高校生生活を送る諸君は、その心がけてゼロに近づけることができるはずだ。文武両道で、勉強も班活もがんばって、しっかりとした高校生活を送って欲しい。』



昔は床に穴のあいた木造の講堂だったが、今は弓道場で…。



不動の心山に見る 我に至高の望あり



本年度進路状況

進路実績、昨年を上回る！

長野県上田高等学校 進路指導主事

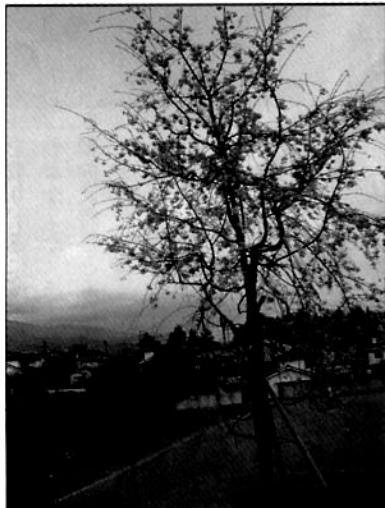
宮澤 典彦

第105期卒業生は、昨年11月になって明るみになった情報及び地歴科目の『履修漏れ』の関係で、卒業式が3月22日に延期されるという逆境を跳ね除け、進路実績も昨年を上回る結果を残すことができました。国公立大学の現役合格数は140名で、既卒も合わせますと212名

という数になります。その内、医学部医学科には6名が合格しました。地元信州大学は、現役が39名、既卒が11名の合計50名が合格しております。

本校の合格実績は、ここ3年間順調に伸びを続けておりますが、これもひとえに同窓会の皆様の暖かいご支援の賜物と感謝いたしております。今後とも本校の教育について、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

大学名	18年	17年	16年	大学名	18年	17年	16年	大学名	18年	17年	16年	大学名	18年	17年	16年	大学名	18年	17年	16年	
旭川医科			1	愛媛			1	獨協医科			1	帝京	5	3	3	金沢工業	2	2	3	
帯広畜産		1		高知			1	文教	12	7	9	東海	8	3	12	北陸	1	1	5	
北海道	2	3	2	島根			1	文京学院	2			東京音楽	1			長野	1			
北海道教育		2		広島			1	目白	1			東京家政	11	4	4	諏訪東京理科	4			
弘前	1			九州				川村学園女子	2			東京経済	7			健康科学	1			
秋田	1	2	3	鹿児島			1	神田外国語	1	2	1	東京工科	1	2	5	山梨学院	2			
東北	7	7	10	琉球	1	1		聖徳	1			東京工芸	5	4		聖霊クリスト	1	1	2	
山形	1	1	1	国立計	183	172	182	千葉科学			3	東京歯科	1			岐阜聖徳学園	1			
福島	1	2	2	釧路公立			1	千葉工業	3	6	1	東京女子	8	8	5	岐阜医療科学	1			
茨城	4	1	5	国際教養			1	東京医療保健	2			東京女子医	1	1	2	鈴鹿医療科学	1			
筑波	8	12	7	岩手県立			1	青山学院	14	19	13	東京造形	1			愛知学院	1			
宇都宮	2	4		宮城			1	大妻女子	1	4	1	東京電機	2	6	9	中京	3			
群馬	7	6	8	群馬県立女子			1	桜美林	3	3	3	東京農業	9	6	2	中部	2			
埼玉	13	7	2	群馬県民健康科学			1	学習院	2	2	3	東京薬科	4	3	10	名古屋芸術	1			
千葉	7	8	5	茨城県立			1	学習院女子			3	東京理科	32	19	37	南山		3	2	
お茶の水	2	1	1	首都大学東京	5	3	1	北里	7	11	9	桐朋学園	1			日本福祉	3		1	
電気通信	1	2	2	横浜市立	1	2	4	共立女子			1	3	東洋	5	2	12	藤田保健衛生	2		
東京	4	4	2	神奈川県立保健福祉			1	共立薬科			1	東邦	14	13	15	長浜バイオ	1			
東京外国語	4	4	2	都留文科	4	2	3	杏林	9	2		二松学舎				京都外国語	1			
東京海洋		2		山梨県立			1	国立音楽	1			日本	20	28	35	京都産業		1		
東京学芸	7	3	3	高崎経済	9	8	8	慶應義塾	19	10	10	日本社会事業	2			京都女子	1	3	1	
東京工業	1		1	前橋工科			2	工学院	2	5	12	日本獣医畜産			4	京都橘女子				
東京芸術			1	新潟県立看護			1	國學院	11	7	6	日本獣医生命科	1			同志社	4	4	11	
東京農工	3	1	3	長野県看護	4	1		国際基督教	3	4	4	日本女子	12	5	5	同志社女子	3			
一橋	3	3		静岡県立	1	1		国土館	2	2	2	日本赤十字看	1			佛教	2			
横浜国立	4	7	5	石川県立			1	駒澤	10	22	20	文化女子	1			立命館	22	7	22	
新潟	13	13	13	愛知県立			2	実践女子			3	法政	31	31	19	龍谷	4	3	2	
上越教育	2	1	1	愛知県立美術			1	芝浦工業	13	9	17	星薬科		1	2	甲南	2			
富山	5	6	5	名古屋市立			2	順天堂	4	1		武蔵	3	2	3	関西	2	3	3	
富山医科薬科			2	岐阜薬科			2	城西国際	1			武蔵工業	11	4	12	関西学院	9	10		
金沢	4	9	11	福井県立			2	昭和	1			武蔵野	5	1	2	近畿	6	4	3	
山梨	3	2	2	奈良県立			1	昭和女子	2	3	4	武蔵野音楽	2		1	武蔵川女子	1			
信州	50	44	57	兵庫県立			1	昭和薬科	3	5	5	武蔵野美術	1	4	2	帝塚山	1			
福井	3		2	北九州市立			1	上智	7	5	12	明治	30	26	37	奈良	1			
静岡	2	2	5	公立計	29	28	28	女子栄養	2	1		明治学院	8	11	9	福岡	1			
名古屋	1		2	北海道薬科			1	成蹊	2	2	4	明治薬科	1	2	7	その他	3			
名古屋工業	1			酪農学園			1	成城	9	8	4	明星	1			私立計	632	500	620	
愛知教育	2	2	1	東北薬科			3	聖心女子	1			立教	13	6	5	千葉県立衛生短				
岐阜			1	東北福祉			3	聖マリアンナ医科	1			立正	2			埼玉県立短大				
三重	5	1	3	岩手医科			2	聖路加看護	1			早稲田	30	29	29	川崎市立看護短大				
京都		2	4	宮城学院女子			1	専修	16	16	16	麻布	2	1		大月短大				
京都工芸繊維	1			国際医療福祉	5	8	9	創価	5			フェリス女学院	4			長野県短大	5	3	3	
大阪	2		3	自治医科			2	拓殖	2		1	横浜薬科	2			国立短大計	6	3	6	
大阪外語			1	帝京平成			5	玉川	2	2	4	神奈川		6	7	防衛大				
大阪教育		1		埼玉医科			1	多摩美術	2			神奈川工科			2	国立看護大				
和歌山			1	東京国際			1	大東文化	2	4	4	関東学院			1	長野県工科短期大	2	1	1	
奈良女子	4		1	東京福祉			1	中央	31	28	39	新潟医療福祉	1	1	1	大津校計	0	5	1	
奈良教育	1			獨協	5	12	11	津田塾	10	8	8	新潟薬科	3	3	4					



祝 会報76号

私たち54期が昨秋卒業50周年に母校の第2グラウンドの土手に植樹した桜は立派に花を咲かせました。

関連記事 p.14



関東五四期会幹事団 / 有賀俊雄・石井光春・市河富弘・杏掛文哉・倉島 彰・黒川次郎・小堺一雄・神津勝重・関 正勝・竹重節雄・田村 朗・寺島重暉・中島隆之・中村 至・馬場武彦・馬場雄二・前田喜美子 (50音順)

母校 NHK その時歴史が動いた 再発見 真田昌幸・信州上田の市民戦争

昨年11月に放映されて大きな感動を呼んだ真田昌幸と上田市民の戦いについて、我々には深い関係があることなので、番組を御覧になれなかった方のために一部を紹介したい。

◎「新参町」と

「三ツ頭獅子」の由来

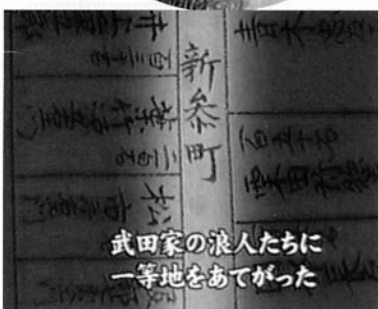
信玄に仕えていた真田昌幸は長篠の合戦で武田が滅亡すると祖先の地上田に帰る。昌幸はそこで早魃に苦しむ農民の姿を見て年貢を半分にする。民を慈しむとともに、民衆の心を掌握する。一方、家臣団の充実のために武田の浪人たちを招き、彼等に領主の館に近い一等地を与えて誠意を示した。これが、ついでこの間まで残っていた新参町の由来である。

◎徳川軍と智恵の戦い

天正13年、今度は家康が突如領地の一部を割譲するよう迫って来た。徳川7千に対し上田は2千。昌幸は民衆を城内に引き入れ、戦いに備える。戦いが始まり徳川軍が城のかけを登って来た時、頭上から降って来たのは、女たちが炊いた熱い粥であった。やけどをし、ひるむ兵の上に鉄砲が浴びせられた。



さあさあ担げ 子どもたち
さあさあ下ろせ 子どもたち



武田家の浪人たちに一等地をあてがった



真田昌幸



(土地) 知行 百石



街に逃げ込んだ兵は柵に止められ、今度はそこに火が放たれた。こうして徳川軍の死者は千三百人。5人に1人が死に、一方、上田の犠

牲者は40人とどまったという。家康は、関ヶ原の合戦前にして、今度は秀忠率いる3万8千の徳川主力軍を差し向けてきた。昌幸はこの時、百姓、町人に関係なく、敵の首一つにつき、土地(知行)百石を与えるという前代未聞のふれを出し、身分を超えて一丸となって戦おうと呼びかけた。この時の徳川軍を襲ったのは、城壁から転がり落ちてくる材木であった。そして、川に逃げた兵に対しては、のろしを合図に、せきとめてあった水が襲った。



民衆



民衆とともに戦う



総力戦



関八州の精鋭を

こうして徳川主力軍は大きな痛手を被り、遂に関ヶ原の合戦に合わなかった。そのため家康は豊臣頼の武将とともに西軍と戦わねばならず、勝利しても、豊臣から没収した6百万石のうち8割を豊臣頼の武将に配分しなければならなかった。その結果京都以西がすべて外様大名となったことは、明治維新まで大きな影響を持つことになったのである。

「かつて六文銭の元で戦ったのは、武士だけではない。農民、町人、民衆はこぞって立ち上がり、こぞって戦った。なぜかと言えば、それは自分たちが住む信州上田を守るためだったからである」と番組は語っている。そして最後に、その誇りと志を受け継ぐものとして母校の校歌の抜粋が紹介されたのである。

いと百難に試みん



我に至剛の誇りあり



証券アナリスト基礎講座

申込受付中

IRクラブ

ファイナンスの基礎知識を学びたい方、
証券アナリストを目指したい方に最適！

受講料：15,000円

お問い合わせ：03-3666-1511 (E-mail: kiso@saa.or.jp)

上場企業の経営トップが語る業績見通し・経営戦略。
内外の一流学者・実務家の講演要旨へアクセス！

年間参加費：8,000円

お問い合わせ：03-3666-1632 (E-mail: tomo@saa.or.jp)



社団法人 日本証券アナリスト協会
(59期 萩原清人)

<http://www.saa.or.jp>

介護付高齢者住宅 ヒルデモア信州白雲館



お問合せ・資料請求

電話
026-261-5500

ホームページ
<http://www.hyldemoer.com>

○ヒルデモア信州白雲館・千曲市大字戸倉 1793-1 (しなの鉄道「戸倉」駅より徒歩5分) ○土地・事業主体非所有、建物・事業主体所有
○類型・介護付有料老人ホーム ○居室の権利形態・利用権方式 ○居室数・33室 ○入居の要件・入居時自立、要支援、要介護の方

東京海上日動サミュエル株式会社



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater
“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

株式会社 トイズファクトリー

代表取締役 井出 孝光 (61期)

◎Mr. Children

◎ケツメイシ

◎melody.

◎ゆず

◎RAG FAIR

◎湘南乃風

◎BUMP OF CHICKEN

◎ジャパハリネット

◎AYUSE KOZUE

(裂織、藍染、染色) 工房
(絹、綿、麻) 製品各種

イサカ 絹 美 堂

猪 坂 周 一 (67期)

伊勢崎市宮前町266-1
TEL 0270-25-0020 FAX 0270-25-0509



代表取締役社長

滝澤 進 (61期)

北海道国際航空株式会社



東京 ✈ 札幌 旭川 函館 女満別

皆様の翼としてご利用ください。
予約センター 0120-057-333

自費出版/パンフレット/ホームページ

本誌編集長、井上が責任編集
お友達価格で見積もり

ee グループイー・エディターズ
代表 井上 剛 (61期)

鎌倉市今泉台7-24-5 i0303@mx3.ttcn.ne.jp

臍かな
中村伸郎

気の合し

飲み足りぬとて

55期

毎月第3水曜日
夜、集まっています。

新宿駅中央東口から
徒歩3分

居酒屋 千草
新宿区新宿3-34-3
電話 03-3354-7634

特別企画 75期座談会

恩師の思い出と卒業後の歩み



出席（75期の皆さん。左から…）

- 3組 糀谷 陽子（旧姓小宮山）（東京都立八王子第五中学校）
- 6組 山田 美紀（旧姓伊藤）（神奈川県立みどり養護学校）
- 5組 尾崎 喜光（独立行政法人国立国語研究所）
- 司会／寺島知恵子（58期・副会長）
- ／笠井 徳爾（旧姓浅野）（61期・幹事長）
- ／井上 剛（61期・編集長）

（編集部より）今号の座談会は、卒業後30年を迎える75期の皆さんです。働き盛りの忙しい中、3月25日に同窓会の事務所にお集まりいただきました。

思い出は、 個性的な恩師と班活動



笠井 今日4人お集まり頂く予定でしたが春原一造さん（東京都立日の出福祉園）が風邪で急に3人になりました。皆さんの年代はおそろい。皆さままだ育ち盛りで貴重な春休みの休日にお越し頂きありがとうございます。



寺島 皆さんの学年は関東においての方は62人なんです。今回の期は幹事の竹内さん、羽田さんはじめ色々な方に声をかけさせて頂きました。75期の情報ということでは申し上げれば、大工原潤さんは出たいのは山々だけど香港に出張中で出られない、宮島省吾さんは、造船関係のお仕事で東奔西走中でお出席は無理でした。その中で山本亮子さんのご住所が判らず、同じ組の本郷さん（旧姓中島、長野高校の先生）にお尋ねしたところ、担任の伊藤弘一先生が把握しておられ、ご連絡ができました。山本さんは座談会参加を了

承して下さったのですが、今日は信州の法事と重なりおいていただけなくなりました。
山田 山本さんのことはよく覚えております。

糀谷 すごく文章がうまかったですね。

寺島 今は婦人科の先生で四谷メデイカルクリニック病院にお勤めです。お医者様といえば金岡吉春さんも同期ですね。京大出身の精神科医で、今千葉の国府台病院に勤務されている。ペルー大使館が占拠されるという事件が起りましたが、彼がアフターケアのために働いたと春原さんから聞きました。

井上 皆さん油の乗り切った年代で、社会や会社の中心的存在として活躍ですね。高校生活はどんなでしたか。
尾崎 自分達が75期なんだという意識は普段はありませんが、何年に入学して何年に卒業したかははっきり覚えていて入学は昭和49年です。生徒番号が4桁なんですけどこれもはっきり覚えていて忘れません。今でもメールアドレスや個人情報の一部にその番号を使っています。身に付いているんですね。

先ほどお話の中で、担任の白田先生のお話が出てきたものですから思い出したんですが、国語の先生なんですけど黒板に○をたくさん書いて、生徒達は今日の時間はいくつ○を書いたとカウントしていましたね。（笑い）

寺島 ○を書くのは無意識に？

糀谷 特に意味のある○ではなく。「なんとかダニ」と言いながらね。（笑い）いろんなおもしろい先生がいっぱいありましたね。



尾崎 私の担任は伊藤弘一先生。英語の先生でした。当然英語を教えてもらうわけなんですけど、授業の中で日本語についても面白い話を聞かせてくれることが

あって、例えば「小首を傾げる」という言葉があるが、あれは「小首」というものがあってそれを傾げるのではなくて、小さく首を傾げること、つまり「小」は首にはなく「傾げる」にかかるんだって、そんな話をして下さいました。

井上 それが国立国語研究所につながったのですか？（笑い）

寺島 覚えている所が私達凡人と違うところがおもしろいですね。

尾崎 色々受け止め方は違うのかも知れませんが私はおもしろいなあと。言葉に執着というのではありませんが、言葉の変わったところに目を付けるということころは子どもの頃からありました。

もう一つ今の仕事に関係しているのは伊藤先生が、英語を学ぶというのも大事だけどすぐ隣の韓国語を学ぶというのも大切なことですね、とおっしゃった。今ですと韓国は非常に身近な国ですが当時は全然メジャーじゃなかった。その時代にそういう発言をなさって、なるほど韓国語も確かに外国語だと、そんな認識をさせていただいた。今の仕事は日本語の研究なのですが、他の言語との比較研究というのにも首をつっこんでいまして、数年前、韓国と日本の研究者が共同で、私を中心になって、言葉自体は全然違うんだけど、言葉の使い方が同じ点、違う点はどうなところがあるだろうかという



同窓会館2階ホールで吹奏楽団の第1回定期演奏会が開催された。当時吹奏楽団は、昭和51年、52年、53年と連続して「県代表、東海大会へ出場」という三連覇の偉業を成し遂げた。「上田高校百年史」より

調査研究をしたんですが、実はそのルーツが伊藤先生の発言にあると言っているのですね。

笠井 部活はグリーンクラブを？

尾崎 コンクールなどには出ず松尾祭を目指しての活動が中心だったんですけど、楽しかったのは合宿です。また、怖くもなかった。あれは青木の公民館で3泊か4泊したんですが、その時試肝会と称して肝試しですね、1人1人お墓まで行って帰って来るんですけど、途中で先輩が待ち構えていて脅すんです。今は懐かしい思い出だけど当時は怖かった。(笑い)

普段の練習も楽しかったんですが、練習以上に楽しかったのは部室にこもって友達と一緒にナポレオンをやったことですね。随分はやって夜遅くまでやりました。

寺島 今の松尾祭は合唱コンクールがクラスごとの対抗でも盛んになっていくらしいですよ。

尾崎 まじめになったんですね。(笑い)

寺島 音楽の先生は？

尾崎・糀谷・山田

(二斉に) 永井先生。

山田 私は永井先生にドイツリートを教えてもらいました。階段型の教室だったですよ、そこで皆の前で発表をして。「そこで感情こめて歌ってごらん」とご指導を受けて。私、結構音楽好きだったものでそこから一生懸命歌って、「よかったです」とご指導を受けたのを思い出しました。

その事があってというのではないですけど、私、大学は日本文学科(青山学院)に進んだんですけど、養護学校に勤務するようにになって、子ども達との関係を作っていくのに歌いかけたりというのはとても大切なのですね。あらためて音楽のすばらしさに気づき、合唱サークルに入りました。今考えてみると永井先生のドイツリートが結構関係しているのかなあと思います。

井上 それは同じ歌を皆が歌うというものでしたか。

山田 いくつかの曲から自分で1曲を選んで歌う、という形だったと思います。私はシューベルトの「美しい五月」も歌えないですけど。

笠井 いい思い出ですね。糀谷さんは？

糀谷 私は入る前から吹奏楽をやっていたんです。中学でやっていて、私が中

3の時に上田高校が県大会で金賞とったのかな、銀賞とったのかな、とにかくあこがれて。ところが中学区制が施行されるといって、坂城は上田高校に行かれないかもしれない。でも私行きたくて行きたくて、最後の最後の段階で、いくつか調整区域というのがあって坂城は上田に行かれるということになって、それが本当にうれしかったですよ。だから高校3年間は吹奏楽ばかり。(笑い)

寺島 楽器は何をなさったの？

糀谷 1、2年でクラリネット、3年でバスクラリネットでした。



で楽譜を買って使ったんですけど、1なんてあったんですよ。部活動が1年生の時に。しよっちゅう授業中に。一同 えっ、授業中に？(笑い)

糀谷 写譜しているか居眠り。(大笑い) 1年の時は先輩が指揮をして銀賞だったんですが、2年生になって永井先生が指揮をして下さって金賞をとり、3年生の時は県代表で東海大会まで出ました。大学(一橋)に行ってからは一ヶストラに入りました。私は中学校の教員になったんですけど、八王子五中というところに赴任した時に吹奏楽の顧問の先生が首をおかしくして指揮がとれないということ、結局私がやることになった。まさか自分が指揮をすることになった。まして自分が指揮をしませんでした。

山田 どこまで行かれたんですか。

糀谷 都の。といってもみんな都なんですけどね、ドキドキでした。自分はクラリネットを吹けるから管楽器の吹き方は教えることができるけど、全体の指揮をするなんて、音楽の専門教育も受けてないし不安でした。子ども達には中学の時と高校で先生方に教えて頂いたことを結局しゃべっているんですね。「あつ、これ永井先生が言っていた事だ」って。(笑い)

井上 山田さんはクラブは？

山田 私は郷土班です。東部町とかで道祖神の調査をしていました。

地図に強くなったのはこのお陰だと思っております。部室は「三軒長屋」で、私たちの班では「大貧民」がはやっていました。

糀谷 前に教師の集まりで別所の柏屋さんにお世話になったことがあるんですけど、そこにビデオルームというのがあって、上田高校の郷土班というビデオが何本もありましたよ。一緒に行った人達が見よう、見よう、あんたが写っているかもしれないって。(笑い)

井上 同窓生がおられたのでしょうかね。



で、私たちの班では「大貧民」がはやっていました。

実社会に出て思うこと

寺島 糀谷さんは、教科は何を教えるおられますか？

糀谷 社会科です。高校を卒業する時は教員になる気はなくて、司法試験を目指そうと思っただけに行っただけですが、

大学で被爆者の調査をするゼミにいて被

爆者の人達とおつきあいをさせて頂いた、長崎に行ったりする中でだんだん今までの教育は何だったんだろうとか、これからの教育はどうなるんだろうとかいう教育に対する思いができてきて、最後の最後に教員になろうと決めました。教育実習は上田高校に来ることができて、戸田先生っていいでしょ…。

尾崎・山田（同時に） ハイハイ。（笑い）
尾崎 客観的と言うのを「カッカンテキ」と言う…。



糞谷 私達の頃は倫社と政経を1年でやっけて2、3年で世界史と日本文史をやった。1年でいきなり政経が戸田先生でそれがすごい強烈な

授業でほとんど教科書を使わないで戸田理論でした。戸田先生はその後長野高校の校長をなさって、今でも教育アナリストという名前で日本教育新聞など色々な所に出ています。その先生が教育実習の指導教官でした。自分で持っているものを子どもに教えるってことはどういうことなのか、ということをごく丁寧に教えて頂いたような気がします。やったのは憲法の前文と第九条ですが、「こゝをやってもらおう。そのためにはこれだけは読みなさい」と20冊位のリストを渡されて、単元について自分なりに勉強したことを自分なりに構成して子ども達に話していく。子どもがわかるということはどういうことなのかということをご丁寧に教えて頂きました。それで、こういう仕事ってすごくおもしろいなあと思つて…。今でも子どもが、あることを知識として身につけて行くという時、

こういう風に話してあげたり、どういう写真を見せてあげて子どもと一緒に話した合ったらわかってくれるかなあと、そういうことを考えるのが本当に楽しいですね。

山田 私は本を読むのが好きで、大学は日本文学を専攻しましたが、就職は教員か一般企業かと迷っていた時にまず教員免許だけは取っておこうという気持ちで教育実習したんですが、子ども達とのふれあいが強く心に残って教員っていいなあ…。試験は中学の国語で受けたんですが、電話がきたのは知的障害のあるお子さんの養護学校の校長先生からで「どうですか？」と。これは半ば運命かなと「お願いします」言っただけですが、それが入ってみたら私に合っていたというのも変ですが、知的障害のあるお子さん達は純粹で、歌いかけたりしながら関係を作っていくのが楽しくて、そのままずっと現在に至っております。

寺島 春原さんも同じようなお仕事をされておられるわけですが、そういうお仕事をされていて、これを読む同窓生の方に伝えたいことがありますら話して下さい。



山田 金子みすゞさんの詩で、「すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」というのがありますが、人間は悲しんだり

苦しんだり喜んだり基本的には皆同じ。障害のおありの方が身近にいたら自然にサポートできる、そういうサポーターが沢山いたらいいなあと思います。
寺島 これから年とった人間が生きてい

くようになれば皆そうなりますね。
山田 そうですよ。だから、昔は施設に入って生活をされるいうことが多かったですが、今は地域で生活できるように、そのためにはどういふサポーターが必要かというように考え方が変わってきています。



井上 自然に高校卒業後の話と進んで来ましたが、尾崎さんは北大に行かれたのですね。
尾崎 ええ、そこに普通の人の2倍長くいますね。学部で5年、修士課程で3年。専門は言語学なんです、私がやっていたのは日本語

の研究で、外に出て言葉を調査してまとめるというタイプの研究です。修士論文では、札幌で生まれ育った人²⁵⁰人位を無作為に選んで言葉のアクセントが共通語と北海道のアクセントが違ってくるころがあつて、それが年齢層によってどのように変わってきているのか、そんな調査・研究をしました。こういうフィールドワーク系の研究をされている方が大阪大学に二人いらっしゃって、そういう先生の元で勉強したいものだと、ドクターコースは阪大に進んでそこで2、3年勉強して平成元年に国立国語研究所に就職しました。今の研究は生活の中で日本語がどのように使われているかという切り口から日本語の実態を探っていくって、間接的ですが将来の日本語をどうするかそんな事を考える材料を提供するという仕事です。例えば最近の言葉の男女差はどうなっているかとか、若い人達の言葉は

どうなっているかとか…。
井上 言葉への興味は小さい頃から持っていたというお話でしたね。

尾崎 ええ、変わった子どもでもでしたね。（笑い）「あいうえお」という50音の発音があるわけですが、一体他にどんな発音ができるものだろうかとか、子どもの頃そんな事を考えていました。

笠井 尾崎さんのように研究職をめざす後輩もおられると思いますが、アドバイスがありましたら…。

尾崎 ま、それぞれつく職業は色々でしょうけど、共通して言えることは、対象となる事柄の本質を他人の頭ではなく自分の頭で考えて、物事を整理し、体系化するということが、研究の発展のためには重要なことだと思います。その為には若い人はしっかりと勉強すること。相撲でいえば「しこふみ」ですね。将来自分の頭で考えるための基礎体力をつけてほしいと思います。

糞谷 私、入学式の際に校長先生だったか同窓会長さんだったか、部活動の他に1日4時間勉強しろと言われたんですね。それで甲子園に行った先輩がいるとか、東大に行った先輩がいるとか…。私1日4時間と聞いただけで猛反発して（笑い）、高校の勉強って大学受験のためなのかしらという疑問がムクムクとわいて来て、名物先生の授業は楽しくて高校の勉強それ自身は楽しんでるけど受験のためというのはいや、と思つていました。

ところが大学に入ってゼミで色んな本を読み合つてそれをレポートしていくという時にハタと自分の力の無さに



関東同窓会

golf

第7、8回 ゴルフコンペ報告

関東同窓会主催のゴルフコンペは年2回。今期は、第7回が取手国際ゴルフ倶楽部、第8回が取手市の藤代ゴルフクラブで開催されました。参加者は第7回が27名、第8回が32名。特に第8回はこれまでになくエ



ントリーの出足が良く、8組の出走枠が早々に埋まり、キャンセル待ちの人が出る状態となりました。第8回当日は、過去最多の参加者となり、組合せも、それまでの卒業期中心でなく、出身地別にするなど同窓の交流の輪が広がるよう趣向を凝らしてみました。

7回、8回とも天候にも恵まれ、和気藹々と一日楽しいプレイと懇親が出来ました。主な成績は次のとおりです。

- 優勝：第7回 神津 勝重(54期、グ*079、ネット71.8)
- 第8回 丸山 暢久(65期、グ*087、ネット70.2)
- 準優勝：第7回 丸山 暢久(65期、グ*083、ネット72.2)
- 第8回 倉見 英一(55期、グ*087、ネット71.4)

- 3位：第7回 西澤 省悟(65期、グ*079、ネット73.0)
- 第8回 井上 茂(60期、グ*094、ネット72.4)
- ブービー：第7回 関 五郎(55期)
- 第8回 水澤 博(46期)
- ベスグロ：第7回 神津 勝重(54期、79)
- 西澤 省悟(65期、79)
- 第8回 西澤 省悟(65期、84)

次回は、10月頃開催を予定しておりますので、今回参加者のいない期の皆様も是非お誘いあわせのうえ、仲間に加わってください。ゴルフ同好会幹事 上原 昇(65期)記(4月12日)

気付かされる場面があった。つまりこういう風に書いてあると要約すること
はできる、でも、それに対してあなたの
意見は？と聞かれた時に自分の意見
って何だろう？思いつくこともできな
いし、だから勿論表現することもでき
ない。それで、自分が受けてきた教育
を振り返った時、受験のための勉強っ
て嫌いなはずだったのにやっぱり受験
勉強の、請われることを身につけてテス
トで吐き出すということしか勉強して
来なかったのかと悩む時期がありまし
た。

笠井 自分で考える力となる学力を身
につけると言う事でしょうか。先ほど
の尾崎さんの「基礎体力」というもの
と通じる問題ですね。

山田 私は、勉強ももちろんですが、
部活とかいろいろな活動や人との出会
いを通して感性を磨いてほしいと思っ
ます。私もそうでしたけど、高校では
まだこれというものが見つからない人
もいると思います。色々なものを見たり
聞いたりして人としての基礎を培っ
てほしいと思います。

寺島 しかしその時の高校生にとつて
何が人としての基礎なのか、わかりま
せんよね。

井上 そうですが、人としての基礎と
いえば、人の痛みを感じることができ
るという心のあり方は学力とは別の人間
の大切な能力だと思います。

山田 人の痛みに気づくことができる
人になってほしいですね。そしていい
友達を見つけてほしいと思います。

糀谷 部活動とか松尾祭などで色んな

移転先：千代田区三番町3-2
麹町三番町コンド202号室 20.8坪



新事務所へ移転

同窓会活動には事務所が欠かせない
拠点となっておりますが、財政圧迫の要
因でもありました。この度、龍野彰宏
さん(58期)のご好意で、同氏が経営
されている(株)タツノの東京支店が
持っている室を格安でお借りできるこ
とになりました。使用開始は6月から
です。役員会や大会実行委員会の準備
などに使いますが、各期の小さな集ま
りにも積極的にご利用ください。
◎ご利用に際しては、笠井幹事長まで
ご連絡ください。)

感情を体験することかしら。それが
感性を磨くことだと思えます。
そして今は何でもパソコンで調べられ
る時代だけど、本を丸ごと一冊読んで
ほしいということですね。一冊読んで
読んで感動する、考えるという体験を
大事にしてほしい。

笠井 本場にそういう点では、私達も
まだまだ心がけていかなければいけな
いかも知れませんがね。今日はどうもあ
りがとうございました。

上田球友会 会長挨拶 成田邦夫(56期)

去る1月21日の定例総会において、神津進前会長の後をついで会長に推挙されました。これを機に一言ご挨拶を申し上げます。目下の学生野球界は先の西武球団による岩手県の一私学高野球部員に対する金銭供与問題に端を発し、上へ下への大騒動となっております。沈黙を守ってきた日本高等学校野球連盟もこの騒ぎを無視できず、全国の加盟校に対し、違反の有無につき自己申告をさせるまでに至っております。然し、高野連加盟校数は4,200余と聞きますが、問題となっているのは、全国規模の留学生を特待生として集め、甲子園を学校経営のビジネスとしている一部の私学であり、大半の公立校にとって野球に限らずスポーツは永遠に、教育の一環であります。

不磨の大典とも言うべき“日本学生野球憲章”の冒頭に“我等の野球は日本の学生野球として、学生たることの自覚を基礎とし、学生たる事を忘れて我等の野球は成り立ち得ない…”とあります。敗戦直後の昭和21年に制定され、焦土と化した日本の再スタートと将来を学生に託したものであります。“古臭くカビの生えたような物との批判もありますが、人間は、世の中は、決して理想

を失ってはなりません。それに向かってひたすら努力すべきです。さて、母校野球部長の山崎宏先生からのお手紙によると、今年も春季北信越の長野県予選が4月末から始まるそうです。昨夏の甲子園長野県予選では母校野球部は久しぶりにベスト8迄進出するという健闘振りでした。そのせいか今年は、3年生が14名、2年生が18名、そして新入の1年生が27名も入部し、何と、総勢59名と言う大所帯だそうです。

全生徒約1100名前後の略々45パーセントという女生徒数を考えると、男子生徒の8-9人に1人が野球部員ということになります。上田高校に将来野球のみで身を立てる積りの生徒、父母も馴染みにくい事から、正に半世紀前の昭和32年(1957年)東信地区代表として甲子園初出場、62年の2回目と“文武両道”の伝統は未だ健在と云えましょう。

折も折、“試百難”を合言葉に精力的に母校改革を有言実行されている藤本校長の全面的ご支援もあり、内田清隆監督以下全部員が大変頑張っております。昨夏の同じ県立普通高の松代高の甲子園初出場もあり、母校の“三回目の甲子園出場”のチャンスは大いにあります。同窓の諸兄諸姉の物心両面にわたるご支援を切にお願いする次第であります。

英語班

初の同窓会開催 (16ページに写真)

第1回上田高校英語班同窓会が06年11月25日に赤坂にて開催されました。当日は、海外や遠方からの参加者を含め総勢38名の参加があり、卒業以来初の英語班同窓会ということので、大いに盛り上がりました。

当日は、64期の高梨さんの乾杯の音頭で始まり、各期毎の現況報告を聞きながら、しゃぶしゃぶをはじめとする鍋物や、持ち寄り頂いた各地名産品等を満喫したあと、全員で校歌や応援歌の大合唱にまで至りました。また、高校時代の英語劇の写真等を見ながらそこかしこに歓談の花が咲き、旧交を温めると同時に古き良き時代の雰囲気懐かしく思い出す時間を共有することができました。

今回は初めての開催ということで64期から70期までの参加者でしたが、今後は毎年11月に、卒業期を限定せずに開催する方針です。関東同窓会のHPにも案内を出しますのでお気軽にご参加ください。

第1回幹事 武重玲子・並木省吾 (69期)

49期 卒業50周年記念大会

49期は表記大会を昨年6月、1泊2日で行った。母校の校門前で写真を撮り、総会を田沢温泉にて開催した。地元を中心に疎開組や神戸・大阪からの懐かしい参加者もあり、75名の出席があった。飲み、食い、歌い、そして感慨深い想いで人間関係や社会観、愛校精神に関して一夜楽しく語り合った。翌日はゴルフ組と別れ、「また会おう」と言葉に握手に力が入った。(花岡潔 記)

57期7組(清作会)同級会

恒例の軽井沢でのゴルフを兼ねた一泊の清作会(担任故池田清作先生)は18年6月2日に参加者25人(奥様1名と地元軽井沢の同期生を含む)で盛大に開かれた。

我々も60才半ばを過ぎ、今年は松尾倶楽部で講演したこともある東京学芸大教授の沓掛君、長野県リハビリセンター所長の大塚君、それに三和シャッター副社長の渡辺静雄君、上田市議会議員の田中正雄君も第一線から退き、その他大勢?の仲間入りをした。

清作会は元生徒会長の加賀美君の挨拶の後田中義司君が「日本の景気と物価の動向について」との演題で講演を行った。そして地元の同期の佐藤惇君が、長野県商工会連合会会長に就任したことを祝い清作会から記念品を贈呈した。



その後西尾君が数年前から始めた、プロまがいのウクレレを堪能し、各々近況を語るなど旧交をあたためた。

最後に元応援団長の田沢君の音頭で校歌、応援歌、寮歌など斉唱し、来年の新年会での再会を約した。(清水康弘記)

在京 64期会

4組竹内、高梨両兄の呼びかけで64期会(ものふ会)が2月3日(土)午後1時から6時まで、東京港区の商船三井赤坂クラブで開かれ、36人が参加しました。

横沢文夫さんから「40年前への

タイムスリップの実現と、かねてからの緊張とカタルシスが解放され最高でした」との感想を寄せられました。

残念ながら1-3組は出席者がいませんでした。今年は還暦

2007年2月3日
上田高校64期関東地区同期会
於:商船三井赤坂クラブ



の年、人生第2のスタートの仲間も多いはず、次回はぜひご参加願います。同期会を皆で盛り上げていきましょう。

(石井 記)

62期 新年パーティー 開催

(16ページに写真)

我々62期生は約400名で、40%近くが関東周辺に在住しております。62期関東同期会(岩井重一会長)は5年毎に総会を行っており、04年3月には「卒業40周年記念全国同期会」を東京で開催し、全国から百名近くが集い楽しい一時を過ごしました。

05年には還暦を迎え、「大和路の旅」を企画し、7組の夫婦を中心に奈良の仲間も加わり、20名近くで「奈良の町屋散策」に泊旅行を行いました。奥さん達も大いに盛り上がり、昨年の新年パーティーで再会しました。

そこで今年も1月11日に昨年に続き赤坂ノベンバー・イレブンス(宇崎竜童・阿木耀子の店)で開催し、「大隅寿男(17年南里文雄賞受賞ドラマ)トリオ&宇崎竜童」のジャズライブを楽しみました。また阿木耀子氏の紫綬褒章受章(06年秋)のお祝いを差し上げ、お礼のトークもあり、ゲームやお料理、ワインで楽しい一夜を過ごしました。今年も関東同窓会の成田副会長、笠井幹事長もお招きし、女性陣12名を含め30名近くが集まりました。

宇崎、阿木氏も同期生で、「来年もぜひ一緒に楽しみましょう」と言って戴いているので、来年もまた夫婦で楽しめる会を企画したいと思っています。

赤坂「ノベンバー・イレブンス」
幹事 中村 眞一 記

電話 03・3588・8100

45回総会の感想

54期 沓掛 文哉 「上田高校の概況」に記された「学校経営の基本姿勢」及び「試百難」に感激しました。就中、「トイレの清掃」には感服しました。「母校上田は必ず蘇

る！」と確信しました。

57期 松田 光一 室内楽は一昨年が続いて2回目だったと思いますが、やはり生演奏はすばらしい！ その伴奏で校歌が歌えていい気分でした。

62期 竹内 信夫 (同窓会本部理事) かねてよりすばらしい活動をされておられることを承知しておりましたが、改めてパワーを感じました。

64期 北原 巖男 同窓会のあと、第64期生による懇親会にも参加いたしました。まさに40年振りに会う感動を味わうと共に、一人一人がそれぞれ「みんなちがってみんないい」生き生きとした笑顔でした。現在進行形で生きています。久しぶりの「校歌」「信濃の国」の声を張り上げました。

近況報告 (45回総会への「出欠はがき」より)

32期 中村 禮三 小倉百人一首「王朝女流歌人寄集」其の二を郷友会にて配布。91才になっても頭だけボケない様努力しています。

51期 八木 浩輔 昨年「物質の究極状態と宇宙論」の教科書を英国で出版。Quarq-Gluon Plasma:from Big Bang to Little Bangです。www.cambridge.orgにアクセス、更にyagiでサーチしてください。同窓会諸氏のご健勝を祈ります。

52期 柳沢 忠 4/20「平坦会」(軽井沢、御代田、小海線より通学者の会)の30周年記念大会。36~70期27名が、早春の軽井沢で古城の門を偲んで夜の更けるまで語りあいました。

55期 宮島 光男 「東京上田会」で故郷との交流を目指して活動しています。「上田みどり大根」の普及、会員同士の語り等、多彩なイベントを用意しています。連絡は03-3291-6996、ホームページは「東京上田会」で検索してみてください。

56期 甲田 洋二 大学の仕事とバッティングして出席できませんが、会費少々入金させていただきます。(甲田さんは4月から武蔵野美術大学の学長に就任されました。)



会員 短信

第54期卒業50周年を迎えて

54期 神津 勝重

卒業50周年を記念して、平成18年10月24日午前、母校第2グラウンドに若桜木を寄贈植樹。その後軽井沢エクシブ軽井沢にて、同伴夫人を含め総勢87名が集い、惜しくも先立たれた名への黙祷で祝賀会開会。小山盛夫会長挨拶、岡崎光雄君の記念事業報告、馬場武彦君、小林茂昭君による祝辞と各地域の現況報告。

第二部はレディース・アンサンブル「シエパードムーン」三人組の心に沁み入る唄と恒例の「信濃の国」の合唱、特に故郷に帰り「ふるさと」の合唱では（こころざしをはたして いつに日にか帰らん 山は青きふるさと 水は清きふるさと）と歌い終える段には、歳のせいとお互いしばし目の潤い感を覚えるところでした。

続く懇親会では凱歌、寮歌のテープ流れる中、夜の更けるのも忘れ久しき友と尽きぬ語りに暮れ、翌25日はゴルフ、テニス、懐かしき母校や紅葉の古

城を訪れる者と、夫々に分かれて信濃路の秋を満喫しました。このような素晴らしい出会いと、催しを企画実行してくれた諸兄に深謝します。

ここに走り抜けてきた50年を顧みると、まさに戦中に生を受け、戦後の混乱と貧しさの中に育ち、もはや戦後ではない、と言われた昭和31年に母校を巣立ち、激浪の真つ只中に進み、幾多の苦難を乗り越え各界の掛替えの無い人材として活躍。茲にようやく安堵の荷を降ろし同期の仲間と、美酒を酌み交わしながら腹藏無き語らいは何者にも代え難いものです。

そして幸いな事に、いま我々は平和で平均寿命の長い時代に人生の晩年を迎え、心置きなく、「自分で使いたいように使える時間時間」が有りこれを如何に有用して行くかが肝心と思っっている所です。

最後に、同期の仲間皆の末永き健康を祈る、と共に苦楽を共にして来たその家族に心より感謝の意を捧げる次第です。

懐かしき母校や紅葉の古

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

岩根恒徳 (21期) 平成18年	大井澄雄 (42期) 平成17年5月1日	堀内良幸 (55期) 平成18年6月3日
松沢芳一 (28期) 平成5年	大塚順三 (42期) 平成18年1月31日	西牧洋一 (59期) 平成18年9月19日
田中良雄 (28期) 平成17年7月5日	小林朝衛 (43期) 平成18年1月	山崎匡毅 (61期) 平成18年1月23日
渡辺綱男 (32期) 平成15年	山本 勝 (44期) 平成17年	土屋行夫 (64期) 平成19年3月21日
若林彦六 (34期) 平成17年6月18日	井出和彦 (49期) 平成18年8月16日	内川榮久 (64期) 平成18年2月4日
眞峰秀雄 (34期) 没年不明	森 基樹 (51期) 平成18年4月30日	駒津敏洋 (66期) 平成18年6月27日
葦沢嘉雄 (36期) 平成18年10月30日	堀内基之 (53期) 平成17年3月10日	高寺好一 (66期) 平成18年11月16日
		荒井見津夫 (70期) 平成18年3月11日

◆運営基金拠出者 氏名

■ありがとうございました。

(平成18年4月1日～平成19年3月31日の拠出者)

期	氏名	金額	59	小市東紀雄	10,000	64	清水敬久	10,000
48	春原 寛	10,000	60	鷹野 芳機	20,000	65	西澤省悟	10,000
54	田中 嘉親	10,000	61	笠井徳爾	10,000	69	栃原 重文	10,000
56	成田 邦夫	10,000	61	西澤正捷	20,000	103	馬場光夫	10,000
59	掛川勝司	10,000	63	飯塚 一雄	10,000		合計 13人15口	150,000

◆寄付者/寄付グループ 氏名

■ありがとうございました。

(平成18年4月1日～平成19年3月31日の寄付者)

期	氏名	金額	46	神林常視	10,000	64	清水敬久	3,000	67期同期会	8,500
28	田中良雄	2,000	51	上原隆雄	10,000	65	岩崎和雄	2,000	インフォーマルミーティング	4,000
31	土屋 学	30,000	53	大塚教夫	1,000	66	竹内豊和	1,000	幹部役員会	11,165
32	中村禮三	2,000	54	田中嘉親	10,000	77	黒澤太平	3,000	顧問会、相談役会	21,000
40	小林郷司	12,000	55	宮島光男	10,000	79	今井明	1,000	総会実行委員会	10,340
41	清水栄一	1,000	57	高木佳年	10,000	80	會田信子	20,000	上田球友会	8,083
42	横山誠之助	2,000	59	小市東紀雄	10,000	103	馬場光夫	1,000	計27人8グループ	316,088
42	山邊賢四郎	10,000	59	清水候博	30,000	103	矢口 寛	10,000		
43	保刈大治	3,000	62	松井由美	10,000	49期同期会				
44-4	堀内茂雄	10,000	63	保屋野美智	10,000	61期7組同級会				

◆事務所維持会費寄付者 氏名

■新しく始まった募金です。ありがとうございました。

(平成19年1月23日～平成19年3月31日の寄付者)

31	土屋 学	20,000	49	荻原 賢	10,000	58	山邊光一	5,000
61	井上 剛	10,000	61	笠井徳爾	10,000		合計 5人	55,000



◆18年度年会費 納入者氏名 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)

■年会費納入にご協力頂き厚くお礼申し上げます。これをご覧頂く際に下記につきご留意下さい。

1. 名前の方は昨年度中に会費を収めて頂いた方です。名前の後の数字は平成何年度まで納入されているかを表しております。
2. ここにお名前が無い場合は会報と同封した個人別の年会費の直近納入日、納入期限をご覧下さい。何年度までの会費を納入頂いたか判るようになっております。
3. なお、過去長年、年会費未納の方については遡ってお支払いいただく必要はございません。納めていただいた時点からカウントさせていただきますので、よろしく願い致します。なお、80歳以上の会員は会費が免除されます。

◆お問い合わせ先：事務局（幹事長）笠井徳爾まで TEL/FAX 03-3652-2803

氏名	49期	片山 浩之 22	保屋野 忠 21	滝澤 紀夫 22	宮下博文 18	63期	岩崎ひとみ 20	望月英和 19	83期
41期	上野貞夫 19	久保治良 20	前田喜美子 21	滝澤 文雄 19	柳澤喜明 28	青木郁夫 24	上原 昇 19	72期	榎本かおる 20
清水栄一 19	大石和夫 18	小林武彦 25	宮入裕夫 20	武井和雄 19	60期	浅野幸司 18	沓掛文夫 18	関 博明 18	84期
長谷芳樹 18	荻原 賢 24	小林孝典 31	宮崎親作 18	土屋典久 18	井上 茂 18	飯塚 一雄 22	小瀬澄子 18	福田礼子 18	吉池 仁 26
43期	小口芳彦 18	柴田正人 20	山本 正秀 18	野田晃弘 19	今井勇雄 23	藤藤秀夫 18	塩川明男 18	船渡和男 22	87期
清水雅夫 19	久保利夫 22	瀬川 直佑 18	55期	堀内 修 24	甲田 奏 18	神林 森 23	柴田正文 18	依田昌樹 18	中村 香織 18
保刈大治 19	銭澤末治 25	高松健治 20	秋山弘志 18	松田光一 21	小関 夏子 20	川村恭司 19	関森 寿一 20	73期	92期
44-4期	土屋 正 18	滝澤 格 19	荒井恒雄 20	宮坂幸雄 18	小宮山 毅 18	北沢昌規 18	西澤省悟 22	尾台通久 22	甲田将史 18
荻原 隆 20	鶴見慎一郎 19	土屋義子 18	伊藤 典久 22	望月英明 20	清水幸雄 21	小出章夫 18	原田義則 18	橋爪宏達 18	95期
山極栄司 18	永島啓二 19	水出 康雄 22	井上 馨 19	渡辺孝幸 18	鈴木光人 18	小高崇男 18	丸山隆平 18	橋爪尚子 19	横沢 建 18
滝沢源平 18	藤家 衛 18	柳沢 忠 20	上原 尚 18	渡辺静雄 20	鷹野 秀機 22	滝沢鐵夫 27	緑川政志 18	74期	97期
中村 強 22	藤岡秀夫 19	53期	大野忠雄 18	58期	滝澤章次 19	西澤信幸 21	横関洋一 22	猪田真紀子 18	依田恵美子 20
堀内茂雄 18	翠川 輝 22	浅野井 恭 22	川上博美 18	伊東紀男 24	田中誠一 19	藤川 昇 22	66期	大場英昭 20	99期
44-5期	山岸萬亀男 21	井澤 保 18	草間 孝 18	大日向寛 22	土屋 哲 18	堀内敏文 18	大石雄司 19	林 幸平 19	堀 純子 18
原嶋佐吉 20	50期	岩田 久 20	黒岩 了 19	金子親頌 22	出嶋紀一郎 18	宮崎 辰治 18	鬼久保潤一 18	75期	100期
古平照男 18	石井一郎 26	大久保正寿 18	関 五郎 18	北村尚巳 18	長崎 誠 19	宮本章子 18	北澤英男 21	竹内幸隆 19	宮島孝広 19
小林義徳 23	石井敬二 22	尾澤 正毅 19	滝沢哲三 20	小池 晃 23	中島 亨 22	山浦 衛 22	高寺好一 22	宮島省吾 20	102期
竹越 教 18	生島 満 18	柏村孝行 33	田玉尚武 19	高橋福幸 18	橋詰武敏 21	山浦成子 18	竹内豊和 19	山本享子 18	池田 信 18
柳澤 廣 19	金井 昭夫 18	芹沢袈裟三 20	土屋 務 19	滝沢信夫 21	前田尚武 19	山本寿美子 20	堀内ふき 22	76期	103期
46期	金井忠雄 39	中島 均 19	長谷川正純 18	中島勇司 18	森田英明 20	若林春樹 18	渡辺節男 19	67期	104期
相澤 忠一 18	輿水朝治 19	堀内忠久 28	平野 誠 20	平松勝利 19	安間 襄 20	阿部節子 18	石田 清典 20	77期	105期
佐藤 信 20	小林幸夫 18	堀内正智 18	横山征三郎 18	56期	宮川克彦 27	山本哲之 23	浅井康彦 23	猪俣 周一 18	黒澤太平 18
長谷川 潔 20	袖山睦啓 22	増田隅雄 24	56期	飯高盛龍 24	宮下厚樹 20	61期	石井則男 18	坂口公一 19	佐藤之俊 18
47期	間庭秀人 23	松井利通 19	飯高盛龍 24	宮下厚樹 20	内海章緒 28	宮原清明 20	井上 剛 19	内川 榮久 18	村越 進 19
上野平八郎 18	宮下厚樹 22	柳澤浩二 18	内海章緒 28	依田康徳 22	59期	尾和正暉 27	笠井徳爾 22	神津 英明 20	佐島 利行 18
清宮栄市 19	豊 滋 19	山田武彦 18	大久保治夫 22	依田康徳 22	甲田洋二 25	笹澤 政道 25	池内正直 18	石崎 吉宏 21	清水忠勝 18
佐藤一郎 20	渡辺一雄 19	山本一夫 18	河合祥雄 18	59期	有賀勝雄 22	池内正直 18	石崎 吉宏 21	高橋宗雄 20	清水淳郎 20
島津虔一 19	51期	山本農夫彦 21	甲田洋二 25	有賀勝雄 22	神津 英明 20	佐島 利行 18	島田彰男 18	清水淳郎 20	清水敬久 18
田澤 徹 19	青島昭久 22	54期	笹澤 政道 25	池内正直 18	神津 英明 20	佐島 利行 18	島田彰男 18	清水淳郎 20	清水敬久 18
中村義夫 19	荒井一男 20	有賀俊雄 18	佐野勝雄 17	石崎 吉宏 21	清水忠勝 18	島田彰男 18	清水淳郎 20	清水敬久 18	横山佐苗 22
西村 勉 20	有賀秀雄 24	石井政雄 19	竹内 仁 22	石塚 洋一 20	高橋宗雄 20	清水淳郎 20	清水敬久 18	関川 哲 18	69期
馬場善一 18	上原 昂 19	石井光春 19	田代和美 18	掛川勝司 22	滝澤 進 19	西澤正捷 27	林 勝秋 18	高梨芳男 18	70期
深井明爾 22	蒲生卓磨 20	市河富弘 24	田辺順一 27	加藤 高 18	西澤正捷 27	林 勝秋 18	宮島英紀 37	竹内中和 23	池田有美子 19
宮原信治 18	滝澤 英彦 28	大矢憲明 21	田村 功 23	金井国興 18	工藤卓也 18	小市東紀雄 18	小林賢一 22	有光忠夫 20	中山 敏 18
山岸五郎 21	徳永慈宏 19	河西秀夫 20	成田 邦夫 21	工藤卓也 18	小市東紀雄 18	小林賢一 22	有光忠夫 20	片山登喜男 18	箱山博見 19
山崎繁廣 20	中島 通明 21	沓掛文彰 18	濱村邦夫 18	小市東紀雄 18	小林賢一 22	有光忠夫 20	片山登喜男 18	箱山博見 19	藤巻禮子 18
48期	保坂利勝 19	倉島 彰 18	山浦 敏照 18	小林賢一 22	有光忠夫 20	片山登喜男 18	箱山博見 19	藤巻禮子 18	坂原 重文 24
相田俊一 21	宮澤 正躬 19	呉 公一郎 18	吉池鴻允 18	櫻井資悦 22	清水 和 20	関本 桂子 22	滝澤武朗 18	奈良本圭司 18	土屋和猛 18
井出洋二郎 18	村田 寛 23	小堺一雄 19	57期	清水 和 20	関本 桂子 22	滝澤武朗 18	奈良本圭司 18	土屋和猛 18	西沢正浩 18
入山一徳 19	母袋博一 19	小菅健司 19	飯島辰夫 18	大谷光弘 22	滝澤武朗 18	奈良本圭司 18	土屋和猛 18	西沢正浩 18	羽田啓吾 18
白田誠人 19	山邊俊一 20	小林干城 22	大谷光弘 22	滝澤武朗 18	奈良本圭司 18	土屋和猛 18	西沢正浩 18	羽田啓吾 18	萩原清人 23
唐沢俊雄 18	52期	櫻井 敬 19	加賀美欣二 22	滝澤武朗 18	奈良本圭司 18	土屋和猛 18	西沢正浩 18	羽田啓吾 18	本郷達郎 19
児玉和男 18	青木 功 36	田中 嘉親 37	小島吉男 20	近藤正輝 22	萩原清人 23	本郷達郎 19	真山隆夫 22	65期	伊藤高志 18
竹内一夫 18	飯塚和男 28	田村 光 22	馬場武彦 19	鈴木芳枝 25	高木佳年 20	65期	伊藤高志 18	岩崎和雄 20	71期
中澤利雄 18	池田松子 21	馬場武彦 19	鈴木芳枝 25	高木佳年 20	65期	伊藤高志 18	岩崎和雄 20	71期	園安法夫 18
山崎 延秋 18	石巻伸夫 19	藤村延魚 18	高木佳年 20	65期	伊藤高志 18	岩崎和雄 20	71期	園安法夫 18	81期
									石田みどり 18
									服部みどり 18
									82期
									中村 薫 18
									堀田きよみ 18
									400人
									1,552,000円

61期 7組

会費の一部で会報を応援します。

左から
井上剛/
片瀬喜雄/
西沢正捷/
玉木純雄/荻原隆治/出本勝也/野口文武/久保田敬雄/滝澤進/田沢洋/大澤義隆/笠井徳爾/(前回出席・宮坂清/大井剛/武者睦雄)



祝 会報67号

64期

64期メンバー

竹内中和 高梨芳男
石井則男 山崎一郎
小松正佳 野口黎子
吉田公夫 清水淳郎
成沢広行 藤巻禮子
宮下明子 林久美子
中山 敏



時代を越え心に残る映画を



映画プロデューサー
永井正夫さん (62期)

山本一力の直木賞作品を映画化した「あかね空」。江戸の下町に開業した豆腐屋一家の葛藤をしっかりと描き、あかね色に空が燃える場面で終わると、キャストやスタッフの名前が続く。そこに永井さんの名前が登場してくる。「プロデューサー」という仕事は「企画を立て、監督やスタッフ、キャストを選び、ロケ地を探し、資金を集め、編集にも係わる。何でも屋ですよ」。がっちりした体を丸めるようにしながら、少しはにかんだような笑いを見せて解説してくれた。

生島足島神社のすぐ近く、下之郷で生まれ、演劇好きな兄の影響

で幼い頃から演劇の世界に憧れた。高校時代は木下順二の戯曲などを演じ、明大文学部で演劇学を専攻。

「学生時代から新劇に入り、舞台俳優を目指したのですが、新宿の飲み屋で映画のアルバイトを紹介され、これが縁で映画の世界にはまってしまった」。篠田正浩、今井正、神山征二郎らそうそうたる監督のもとで助監督をしてきたが、15年ほど前からプロデューサーに変わった。

「失楽園」「死国」「阿弥陀堂だより」など話題作を手がけ、いまは夏に公開予定の「明日への遺言」を撮影中。「秋に公開する『ふみ子の海』はずっと温めてきた作品なのでぜひ皆さんに見て欲しい」と強調した。

「時代を超えて人々の記憶に残る映画をつくりたい」と熱を込める口調に、永遠の青年とでもいふべき情熱を感じさせられた。(55期宮島光男記)

同窓生の集い、各地で

各期、各班の同窓生の集まりが盛んに行われています。積極的に参加しましょう。今年の秋には、初の全国規模での女性同窓生の集いも企画されています。



62期は宇崎竜童、阿木耀子さんの店で

詳細は13ページ

紅葉美しい菅平
あづまや高原ホテルで
女性同窓生交流会が
予定されております。



英語班、初の同窓会開催 詳細は12ページ

初の全国規模の呼びかけ

上田高校再訪、らいてふさんの家見学のあと、ホテルで懇親会。20代から70代、初対面でも同窓生ならたちまち通じ合える！浅間から烏帽子連山を楽しむ露天風呂入浴、宿泊も可。翌日秋川溪谷バスの旅も可。(10月21日~22日) 全国の67期の女性達が心を込めて準備中。同窓会本部からの「古城の門」にご案内同封予定です。